

経済学科【中一種免（社会）、高一種免（公民）、高一種免（地理歴史）】

の教員養成の理念と構想

経済学科は、経済の情報化・国際化が進展する中で、社会の仕組みを理解するための基礎知識を身につけ、総合的視野に立って経済社会の変動に柔軟に対応しうる能力を習得させることを教育目標としている。

経済学科のカリキュラム体系は、経済理論分野・経済政策分野・経済歴史分野に大きく分類されている。経済理論分野においては、経済社会を動かす基本的メカニズムを学び、経済政策分野においては行政や政治を含んだ社会の制度や仕組みを学び、また経済歴史分野においては歴史的観点から経済社会を学ぶことを、それぞれ目標としている。これらを大きく広く習得することによって「中学校一種社会」の教員免許取得の土台となる。また経済歴史分野をより深く習得することにより「高等学校一種地理歴史」の教員免許取得に資することとなる。そして、経済理論分野と経済政策分野を深く習得することにより「高等学校一種公民」の教員免許取得の基礎となる。

国際経済学科【中一種免（社会）、高一種免（公民）、高一種免（地理歴史）】

の教員養成の理念と構想

国際経済学科は、経済の情報化・国際化が進展する中で、日本はもとより世界経済の発展に貢献するため、社会の国際化に適用する分析力と判断力備えた能力を習得させることを教育目標としている。

国際経済学科のカリキュラム体系も経済学科と同様に、経済理論分野・経済政策分野・経済歴史分野に大きく分類されている。経済理論分野においては、経済社会を動かす基本的メカニズムを学び、経済政策分野においては行政や政治を含んだ社会の制度や仕組みを学び、また経済歴史分野においては歴史的観点から経済社会を学ぶことを、それぞれ目標としている。これらを大きく広く習得することによって「中学校一種社会」の教員免許取得の土台となる。また経済歴史分野をより深く習得することにより「高等学校一種地理歴史」の教員免許取得に資することとなる。そして、経済理論分野と経済政策分野を深く習得することにより「高等学校一種公民」の教員免許取得の基礎となる。